

*少子化と言われながら物価も上がり、税金も上がるなど聞くと、これから2人目3人目を産み育てて行けないだろうという不安があり、出生率は減る一方だと思う。長崎市の現物給付制度で医療費の面では多少安心していたが、補助金カットとなるとさらに不安が増え、ますますもう子どもは一人でいいと思ってしまう。

*ピンクの紙に書いて申請する手間がなくなり、ずいぶん楽になりました。時折、受給者証を出し忘れることがあります。

*母子家庭などの6才以上の人にも適用することは無理なのでしょうか。一生懸命働いても生活は苦しいです。生活保護の方はいろいろな補助をしてもらって豊かな生活です。見直しが必要だと思います。遊んでお金をためています。若い人の収入に合わせるべきです。20万は多いです。

*上の子がもうすぐ「福祉医療費受給者証」の有効期間がきて使えなくなります。喉と耳で病院を通院するので期間を中学校入学前まで伸ばしてほしいです。食費と病院代がかかり、外へ遊びに出るとお金がかかるので休みの日は家で過ごしています。

*子どもは病気をすることが多く、助成制度はとても助かっています。時間や暇があまりないので現物給付制度も有難いことです。なくなってしまうと大変困ります。

*少子化問題といわれる現在、減額となるとますます子育てをしていくには難しくなっていくように思われます。他に減額できる部分は沢山あるのでは？

*長与、時津などは今まで通りなので面倒。財源のこともあるのでどちらとも言えないが、ようやく今のようになってよかったと思っているところでした。

*福祉医療費受給者証のサイズが大きすぎるので、どうにかしてほしい。

*病気がしやすい年齢まで医療費を無料にしてほしい。

*少子化対策として実施されているのに、これ以上負担したくない。

*正直説明がわかりづらい。同じ病院でないと補助ができないので結局4~5千円かかる、兄弟で1万円位かかる。この医療費が安いと思う人もいれば高いと思う人もいます。小学校に上がると無くなるのも困ります。

*1ヶ所の病院で1日800円、月1,600円、違う病院になると同様の金額を払わなければいけないので結局お金はかかる。

*現物給付制度にすることによって、補助金を減額するのなら、元に戻すのも仕方がないような気がします。

*何でカットされるのかわからない。ムダ使いが多かったら不正が多かったにもかかわらず、まだ市民を苦しめるのかギモンです。金子さんは何をしたの？カットの1億円は何に使うのか教えてほしい。新しい建物に使うのですか？

*手続きをしなくて済むようになったので、本当に助かります。

*子どもが小さいうちは、病院に行くことが多く負担になるので、急にカットされると厳しいものがあります。条件付きで対象者を決めるとよいのではないのでしょうか？

*フルタイムで仕事をしていると市役所へ手続きに行くのも大変なので、よい制度だと思う。こういう制度に税金をかけて良いと思う。

*対象年齢を小学生までにしてほしい。小学生までは病院に行くことが多いので。

*9番の問いと重なりますが、利用者の立場からはとても良くなった制度と感じていましたので、なぜ削減されるのかわかりません。削減されることで制度にまたなんらかの変更があるのかと心配になりました。

*受給者証を持っているのに制度を知らず、利用していなかったのもとても残念です。とても良い制度だと思います。子どもを育てにくい世の中です。がんばって改善してほしいと思います。もっとこれからをになう子どもにお金をかけるべきだと思います。

*償還払いだと口座振込の手数料や手続きの手間が多かったのが、現物給付だと病院と市の間の手続きになるので

個人個人に対応するよりずっと軽費が少なく済むと思うので良いと思う。

*長崎大学病院に受診させたが助成分を戻してもらおう手続きに行けないでいる。現物給付制度はこれからも続けてほしい。平日仕事していればなかなか市役所に行けない。長崎はおくれていると思う。

*今の制度になって病院に行くことに何の躊躇もなくなりました。幼児ほど病気になりやすいので減額してほしいです。他の県では、小学校低学年まで医療費免除という所もあるそうなので、もう少し考えてほしい。

*もっと子育てに関していろんなことをして頂きたいです。そしたらもっともって出生率も上がるのではないのでしょうか？

*子どもの医療費が自治体の財政に左右され、格差が生じるのは理解できない。福岡市のように子どもの医療費負担ゼロ（小学生以下？）の自治体がある一方、減額方向の自治体がある等、明らかな格差がある。子どもの医療費が、自治体からの補助を受けられない・減額させられる等の場合、医療を受けるかどうか親（保護者）の経済状態にゆだねられ、結果として全ての子どもが平等に医療を受ける機会をうばうことになりかねない。子どもの居住している自治体や親（保護者）の財政・経済状態の責を、子どもにまで分担させず、全ての子どもが健やかに成長できることを希望します。

*現状、子どもを育てにくいのに（経済的に）、その上このような（上記）規制が入ると少子化問題が広がると思います。もっと子どもを育てやすい環境を作って欲しいです。

*ワクチンなども対象にしてもらいたい。

*現在子どもを育てている親としては助成制度はとても助かっています。長崎の現状はとても厳しい経済状態であるのはほとんどの県民が理解していると思います。これから県民全部で長崎を住み良い県にする努力が必要ですので、これ以上住みづらいつと感じることのないような制度を採用してほしいです。県外に行った方が楽と思うことのないように！

*高齢者を優遇するより、子どもにお金を出すべきだと思います。年配の方は年金生活で裕福な方が多いようです。

*現物給付制度になりとても助かっています。なぜこの制度を実施する自治体に補助金をカットするのかわかりません。子育てしながら働く人が増える中、便利になっていくのを望みます。

*対象を小・中学校（義務教育まで）に拡大してほしい。

*手続きを複雑にして助成金を受け取りにくくするのは市民のための福祉を考えていないということでしょう。県の方針は疑問です。

*長崎市はもっと子どもを増やさないといけない現状をわかっていないのではないのでしょうか！

*大変ありがたい制度なので、このまま継続していただきたい。補助金減額は、子育て支援の施策方針に反しているように感じられる。急な入院の時等、後日償還されるということでも、その時すぐ高額の支払いをするよりも支払いやすい。

*いいものはどんどんやって欲しい。他にももっと改革できるものがあるのでは…。

*子どもは自分にとっても社会（国）にとっても宝です。できる限り子どもにとって（医療面においても）良い環境が望ましいと思います。社会全体で助け合っていく必要があると思います。

*県が補助金を減額しようとする趣旨が全く理解できない。とても良いことなので、むしろ増額すべきことでしょう。これからの活動、心より支援・応援します。

*子どもの風邪はなかなか治らず、何回も病院に行くので助かります。休日にかかりつけの病院は休みで、他の病院にかかることもあるので、1つの病院に対して1ヶ月1,600円までではなく、トータルで（いくつの病院にかかっても1ヶ月1,600円まで）みてほしいとも思います。

*現物給付であると医療費がいくらかかったのかの意識もなくなるし、必要以上の受診も増えると思います。以前の手続きでもそうてまのかかるものではないし、返金を受けるためにはするべきだと思います。手続きをしない人が悪いと思います。限りある財源は有効に使うべきだと思います。

*長崎市は子どもを育てにくい町だと言われていました。医療費が現物給付制度になって手間や家計的に助かったと感じている家庭は多いはず…子どもを大事にしてほしいと思います。子ども達を育てるためのお金は出して下さい。

*ピンク色受給者証のみを提示する方が多く、内容がよく分かっていない人が多い。どういうシステムなのかを説明することも必要だと思います。

*現物給付制度は非常に助かっているので、存続させてほしい。都道府県によっても助成には差があり不公平感があるので、国として統一してもらえれば一番良いと思います。

*これからも子どもを育てやすい環境を作っていただけると嬉しいです。頑張ってください。

*乳幼児を守る意味でもすごく良い制度なので今のまま続けていただきたいです。保育園に行っている子どもは特にすぐかぜひいたり、伝染病をもらったり、けがしたりするので、病院代がすごくかかります。子どもが小さいので、まだパートぐらいしか勤めることができない私達の立場にたっていただき、経済面のバックアップよろしくお願ひします。

*市の現物給付制度は、育児中の親にとって経済的負担が軽減されるだけでなく、従前の償還払いの手続きの大変な手間がなくなり、非常に助かりました。今後もぜひ制度を継続していただきたいと思ひますし、他の市町の保護者の方たちのためにも、県でもすすめていただきたいです。

*補助金を減額したり、税金が上がったりと市民にとって悩ましいことが多いのに対し、きれいな図書館ができた、道がきれいになったり、橋ができたりと、もう少し日々の市民の暮らしが豊かになるように何とか違う方法がないか考へてほしい。

*現物給付になり大変助かっております。今後も是非継続していただきたいと思ひます。

*働いているので、後で申請するやり方だと申請ができないので、とても助かります。

*大変良い制度。実施するのが遅かった位だと思う。「少子化対策を」と言うならこういうソフト面での充実も大切。もっと拡大すべき。

*ピンクの紙が、紙だし大きいのもちはこびがしにくい。保険証もカードになってきているので、カードにしてもらえると非常にたすかる。

*非常に助かっています。今後ますます子を産み育てやすい市となるよう、心から祈っています。

*県外の自治体によっては無料のところもあるので、そうなれば良いと思ひます。

*少子化を心配している国が（県や市も）、子どもや育てる親の立場になって考へないのはおかしいと思ひます。小さい子をかかえて、領収書を貼り、記入し市役所（もしくはポスト）へもって行くのは絶対におかしいと思ひていたので、現物給付はかなり評価しています。

*現物給付制度になって、非常に助かっています。以前のように申請する必要があるれば、とても手間がかかり、どうしても手続き漏れとなってしまう、あつてないような制度となってしまうが、今は「漏れ」がなくなり助かっている。

*助成を小学校卒業までにのばしてほしいです。

*“福祉医療費受給者証”がカードサイズになれば携帯に便利。保険証とも一緒にサイフとかに入れられるし。

*2人目3人目と子どもをたくさん産んでも不安のないように医療費だけは市や県に助けていただきたいです。

*とても助かっています。

*地方職員共済なので手間は変わらない。利用できないのが残念です。

*国の問題として少子化がよく取り上げられているにも関わらず、長崎市のように子育てに対し、とても便利な対策を行っている市に対して補助金減額を示す県の意向が全く分かりません。これから市は県に負けず現物給付制度続行に努めて下さい。



下の子より上の子にも助成があると助かります。小さい子どもも勿論ですが小学生中学生のいる家庭や子どもたちにも助成制度が必要と思う。

*少子化少子化と言いながら医療費に自己負担分が出るのはおかしいと思う。子どもを育てるのにお金がかかるという認識がこのままでは改善されないのではないのでしょうか。

*少子化と言いながら子どもを育てる環境が整っていないので、今後子どもを生む人がもっと少なくなると思う。

*少子化の世の中なので、医療費や教育費などを義務教育までの期間だけでもお金のかからない様にしてほしいです。それだったら私もどんどん産みたい。

*国や県がもっと積極的に現物給付制度の拡大に取り組んで欲しい。

*小学生まではいろいろな病院にかかることが多いのに削減は困る。子どもの数も少ないので全額（小学生までは）無料にしてほしい。

*子どもが3人いて抱っこや手をつないでサイフの中をのぞくのは大変でした。この用紙で助かってる部分はたくさんあります。

*現物給付制度は手続き漏れなどが無くなり、とても助かっていますが、補助金を削減する理由がわからない。もっと情報公開してお互いメリットがある政策を望んでいます。

*子どもが住みやすい環境作りの1つが医療費助成制度だと思うので、ぜひ今の制度を続けて欲しいと思います。

*現物給付になり病院を受診する際、金額を心配しなくてよいので助かる。子ども2人を歯科などに連れて行くと結構な金額をとられるので受診するのも大変で助かる。

*補助金減額すると子どもが病気になっても安心して病院へかかることができなくなる。少子化少子化と騒ぐ割に、子どもたちへの補助金を減額するのは理解できない。逆に少子化につながるのでは？安心して子どもたちを育てる環境を作るために市、県、国に努力してほしい。もっと他に減額するべきところがあると思う。

*幼児の時はよく病気にかかったりするので「現物給付」があると本当に助かります。今後もずっと続けて欲しいと願います。

*現物給付という名称に違和感がある。国として実施してほしい。他県で受診した際手続きが不便。

*子どもが4人いて毎月のように小児科へ通院しているので、この現物給付制度ができて本当に助かりました。

*前は窓口の方に嫌みなどを言われたので行くことが怖くて手続きをしませんでした。今はとても助かっています。

*免疫力が無いに近い時なので病院代を考えずに連れて行き、早目に治してもらえるので続けてもらいたいです。

*なぜ問9のようなことがおきるのか納得がいかない。現物給付になったことで市の予算は大幅なアップとなり大変な状況にあると思いますが子育てをする私達にとってはとても有難い制度だと思います。感謝しています。

*子どもの医療費助成制度が小学就学前までになったのも大変助かっています。それに現物給付制度になり本当に有難いです。仕事をもっていると、なかなか病院に月始めに書類をもらいに行ったり、役所の方へも時間的に行けませんので、それをしないですむことは助かります。子どもはよく病院にかかったたので本当に有難いことでした。

*今までは少額だと手続きが面倒だったのであらかじめ、面倒な手続きをしなくてよくなり病院にも行きやすくなった。

*県や自治体の財政についてはよくわからないが、補助金をカットするというのは医療費の負担も自動的に増えるということですか？

*色々な事で子育てに対して厳しい状況なのに、行政の方たちはきちんと現状を把握できているのでしょうか。安心して子供を育てる環境がちゃんと整備されないことには子どもの数は増えないし、少子化は止まらないと思う。子どもは病気をするのだから医療費については真剣に考えて欲しい。

*対象年齢を長くして欲しい。

*子どもを育てていく上で、すごく助かる制度だと思います。実際子どもが3人いるので助かっています。皆さんが分け隔て無く平等に助成を受けられるのにカットされるのはおかしいと思います。又、他の市町村の皆さんにも是非実施して欲しいです。

*もっと早くして欲しかった。下の子が受けれたのでよかったです。4人一緒に病気が重なる事がほとんどだったので苦しい時がほとんどでした。色々な制度が増えれば子どもを生もうと思う父母が増えてくると思います。

*助成分を戻してもらって手続きがすごく大変でした。領収証をとっておくのも大変だし、窓口へ行くのも大変でした。さらに、窓口の人もチェックしなくてははいけないし、すごく無駄なシステムだと思います。エコ（紙）にもなるし、とにかく手間と時間の無駄な作業でした。

*地方職員共済なので償還払いです。どんな保健組合に入っている、すべて現物支給にしてほしい。制度上の難しさがあるのかもしれないが期待していただけにとっても不便。

*問9①この減額対象がおかしいと思います。国として実施できるよう変わると良いと思います。

*是非続けて頂きたい。

*安心して子育てが出来るように全国的にやってほしい。

*私達子育て世帯には子どもの医療費助成は大きなことで、良いところに引っ越したいなど話題にもよくあがります。今後も是非継続していただけるよう助成の程お願いいたします。

*償還払いは指定用紙に領収書を貼ったりとても時間がかかります。育児におわれ、時間のない母親にとって早く現物給付にしてほしいと思います。

*今まで手続きが面倒だったので現物給付になってすごく助かっています。今、少子化なので自治体ごとではなく全国そうなってくればよいと思います。長崎県にも頑張ってもらいたい。

*補助金カットの事をいろいろこのアンケートでは書いてありますが、それどころか東京の知人によると東京では1日800円の負担もなく、医療費は中3まで1円もかからない話を聞きました。県は補助金カットなど言ってないで、1日800円月1,600円の制度を見直して欲しい。あと年齢も引き上げてほしい。

*子どもが小さいと何かと病院に通うことが多いので、費用の面では負担が多くなるため、この制度があると助かるのもっと額の面でお願ひしたい。

*今までは1医療機関ごとに1ヶ月づつの記入で、働きながら子育てする立場としては書く暇がなく、いつも5~6ヶ月分まとめて記入していました。せっかく医療助成という制度がありながら記入が面倒で助成を受けていなかった方も多いと思います。07年4月から記入、申請の手間がなくなり非常に助かっています。これこそ身近な子育て支援だと実感しました。国として取り組むべきです。

*1回あたりの支払い額が決まっているので大変楽。

*他県から引っ越してきて半年、以前は乳幼児医療0円の地域に住んでいたため、長崎市の月1,600円まで自己負担ということは非常に高く、利用者に負担を強いているように思う。現物給付が良いとかそれ以前に、自治体は利用者以外の自治体より負担を多くしてもらっていることを肝に銘じて欲しい。関西では少なくとも保育料、乳幼児医療どちらも今よりはるかに安かったです。

*少子化なのに医療費が削減となると今後ますます少子化すると思う。もっと見直して欲しい。

*現物給付制度はとても良い制度だと思います。乳児や幼児期は病院に行く機会がとても多いのに小さな子どもを連れて毎回手続きに出向かなければならないのがとても大変だったのでこれからも続けて欲しいです。医療費助成については現在の制度では4月生まれの子と3月生まれの子で最大約1年間も助成を受けられる期間に差がつくので不公平に感じる。助成は誕生月までにすれば公平になるのではないかと思います。

*現物給付になったことに評価していますが、子を生み育てやすい環境とはまだとても言えません。

*なぜ補助金を減額しなければならないのか、その理由と減額された場合どういうことがおこるのかの2点を実施前に明確に給付を受けている家庭へ知らせる手段を取って頂きたいと思います。

*小学生にも助成してほしい。8才の子どもは喘息で月に5,000円は病院代薬代がかかります。他に歯科や眼科、皮膚科などに通院することになると親は病気になっても病院にも行けません。助成が無理なら負担の割合を小学生まで1割とかにしてほしいです。

*我が家は共済組合のため現物給付制度の恩恵を受けることはない。従来通り助成分を戻してもらう手続きを行わなければならない。しかし、制度を利用している社保の人は喜んでるので良い制度だと思います。

*受給年齢を小学校卒業時までにしてほしい。

*制度のPRがまずい。申請の仕方を知らない。又、何に問題があってアンケートしているのか要点がわからない。

*現物給付制度に大賛成です。どの部分への予算を確保しなければならないか県へ強く要望します。

*長崎市が開始した制度はとても良い制度なのに、なぜ県からの補助金がカットされるのでしょうか？納得できません。県が率先してやっつけていい制度でもあるのに、県は少子化対策を真剣に考えているのでしょうか？

*制度化前、長崎の取り組みは全国的にみても悪いと聞いたことがある。同じ子を持つ親が大変なのはどこでも一緒なのに、たまたま住んでる自治体によって差が大きくなるのはおかしいことだ。子どもにかかる医療費の負担は大きく、特に我が子は乳児の時、毎日通っていた。保険料が高い上、医療費もかかるのに、行政は表面のことしか見ていない。自治体、県だけでなく全国的に本当によい制度に早くなって欲しいと切に願います。

*3歳くらいまでは病院に毎月行っていたので（上の子の時）、この制度があったら手続きが省けて良かったのと思います。今はすごく助かっています。

*不景気で収入が減っているので、少しでも子どもに助成してくれるのは大変ありがたい。

*まだ全病院で使えないので、使えるようにしてほしい。

*市民（利用者）は手間が簡素化。病院は事務作業が増える。市は事務処理が減少。県は何に対しての補助金？月額1,600円を超えた分の補助？事務処理に対しての補助？内容次第ではないでしょうか。

*小学生にも適用してほしい。

*児童手当と同様に小学校卒業までの助成にして欲しい。

*少子化と言われる時代ですので、もっと助成を増やしてほしい。そうしたらもう1人産みたい。子どもにお金がかかるので、子どもも少なくなっている。

*子どもの医療費助成制度はとてもありがたい制度だと思います。もっと助成を拡大していただけると良いと思います。

*利用者にとっては大変利便性が上がり、助かっているが、県としても国からの補助金が減額されるのが頭の痛いところだろう。そもそも老人医療に比べ満たされていない小児医療制度そのものを国に見直してもらって訴えをしていかなければならないと思う。私としては現物給付も助かっているが、対象年齢の引き上げの方をより評価したい。

*大学病院でも現物給付制度を実施してもらえたらと思います。

*わが家は従前どおりなので、制度が変わっても、手間も何も変わらないので分かりません。国として子どもの医療費を無料（一定の収入未満など）にして欲しいと思います。

*他県では自己負担金なく病院にかかっていたりしているのに、長崎では自己負担金があるというのはきつい。母子家庭の人は自己負担金があるのはきついと思う。病院が変わる度に自己負担金があるのはどうかと思う。

*今回の制度になってとっても助かっています。払戻の手間だけでなく生活費に余裕がない時、病気になると病院代が心配になりますが、補助金で安い無料となると安心してすぐ受診できます。結果早くよくなり、子どもも楽になります。とても大事な制度だと思います。

*全員対象にして欲しい。

*西彼杵郡と長崎市の境目に住んでいるので、長崎市のみ制度は不便。薬局が無料というのは大変ありがたいが安易に薬をもらうようになった。(粗末に扱うこともたまにある)

*小学校までまだ補助が欲しい。高齢者ばかりの補助が目立つ数年前としてみれば随分良いと思うが、子どもに対する助成をもっとすべき。それと保育所を民営化にして経済効果を求めるのは間違ってると思う。

*子育て制度をもう少し考えて下さい。外の声を聞いて下さい。

*共働きなので現物給付制度に変わり、手続きがなくなってすごく助かっています。子育て最中の人達にはすごく有難い制度だと思います。補助金を減額するのなら納得できる説明をして頂きたいです。

*私の子どもが通っている病院が、市内ではなく長与町になるために、この制度がなく今まで通りの用紙にての手続きになるので、今後、西彼方面(県内)にもこの制度を使えるようにして頂きたいと思っています。

*全都道府県において、同じような制度をとっているが、内容(対象)がまちまち。移住地によって対応が違うのは不公平だし、引っ越しなどで戸惑うので、国の事業として実施してほしい。県も苦しい状況にあることをご理解いただきたい。

*転勤で長崎に来ましたが、他県では現物給付が当たり前だったので非常に不便で、手続きしないものもたくさんありました。県が補助金をカットする理由が全く理解できません。

*1回800円を1回500円位にして欲しい。

*子どもが喘息なので毎日薬を飲まなくてはけません。前は月に1万円以上支払いをしていて、手持ちが無い時は非常に困っていました。今の制度はすごく助かっています。

*子どもは急に病院へ行くこともよくある事なので、手元あまり現金を持っていなくても安心して受診することができるのは大変よい制度だと思います。問9のようになぜ補助金削減しなくてはいけないのかおかしいと思います。

*ピンクの現物給付制度の紙をもう少し丈夫なものに作り替えてほしい。

*子どもの医療費助成制度は小学校入学前までですが、うちの場合は視力が弱いため矯正をする訓練を月に何度か眼科で行う必要があります。この制度を中学校入学前までに延長して欲しいです。

*少子化対策に本気で取り組む気があるなら、長崎県全域で現物給付にして医療費の助成の対象年齢を引き上げて欲しいです。補助金をカットするなら他にも見直すべきところがあるのではないのでしょうか？

*他の県では窓口での支払いが全くないところもあるそうです。窓口での支払いが安くなったので助かりますが、小学生低学年くらいまでまで助成して欲しいです。

*子どもを育てるには多くの医療費がかかります。人口を増やすためにもこのような制度は拡大してほしいです。

*せっかく手続きに行く手間が省けて助かると思っていたのに、うちは対象外なんて心外です。全所帯で何でやってくださらないのですか。役所の時間内に足を運ぶのはなかなかできません。

*手続きを行うのは多忙な子育ての中どうしても漏れが生じます。数カ所の医療施設を受信していると何枚もの書類作成が必要となります。今の方法になり非常に助かっています。ぜひ続けていただきたいです。

*小中学生の医療費なども考えて欲しい。

*就学前までから小学生まで対象年齢の幅を広げて欲しい。

*就学前までという期間が短いと思います。実際助成されない年齢の医療費が高いです（国として3歳以下は2割）。他の自治体で年齢上限を上げているところを見習ってほしいです。

*長崎市のみとは知りませんでした。県の補助金減額の理由を知りたいですね。この制度が全国に広まることを期待します。

*今回の現物給付制度は均等にすべての人が医療費の助成が受けられるとても良い制度だと思います。医療費の一時的な出費が困難なご家庭のお子様も安心して医療が受けられるので子どもの命を守る為にも国はもっと率先して制度を実施すべきだと思います。

*現物給付制度になるのが正直遅かったし、無駄な時間だなといつも思っていた。忙しい親にとっては、とても助かるし手続き漏れもなくなる。

*助成制度は必要なことであり、必要なことに税金を使ってほしい。少子化の時代に補助金削減はおかしいと思う。もっとよく考えて政治をして欲しい。政治家はきちんと仕事して下さい。

*病院によって受給者証を提示しても800円を超えた金額を請求された事が何度もあり、不信感を消せないままのところがあります。私も含めて他にもこういう風に思われている方がいらっしやるかと思います。

*子どもに対して福祉の充実をもってやっていいと思う。1億円減額するなんてのもっての他。他の事をもっとカットできると思う。県からの補助金も私達が払う税金です。子どもの医療費はかかって当たり前なので少々の負担は保護者の方もわかっていると思います。助成していただけてとても助かっていますが、地域によって制度や格差があるのはおかしいです。例えば東京では特定疾患のある子どもさんはその分の負担はありません。大村もある年齢までは負担はないし、良い方に国全体で統一してもらいたいと思います。

*現物給付制度が始まって嬉しかったです。ピンクの受給者証がもっと小さく携帯しやすいものだと良いと思います。

*長崎市は収入の面においても全国で最下位に近い市なのに、福祉面でのカットは非常におかしいと思う。

*病院代を無料にしてほしい。予防接種も無料にしてほしい。2才〜「麻しん」有料になるときいた!!

*長崎県全域とは言わなくても、せめて時津町・長与町でも使えるようにして欲しい。夜間の原爆病院や、大学病院の検査でも使えるようにしてほしい。

*子ども達を育てていく環境問題をもっとしっかりと考えていただきたい。何が必要で、何が不必要なのかを、県も市も全く理解できていない方が多く携わっているのではないかとの不信感でいっぱいです。

*「医療」は人が生きていく上で必要なものです。それについての助成もやはり必要だと思います。

*長崎市の制度はとても評価できる。だが、申請書を書かなくてもいいということは、誰かにお金を払ってお願いしているわけだから、お金持ちの市だけが優遇されるのはおかしいという県の立場もよくわかる。今回の補助金の削減は、市としてはこの程度リスクは予想できなかったのだろうか。逆にいうと予想がハマったと思う。お金の問題であれ、制度が継続できないなら、元のやり方にもどっても仕方あるまい。

*他県の友人に聞くと、早くから「現物給付制度」が導入され、内容はもっと良い内容です。他県からも学んで色々導入したり改善してほしいです。

*対象外だから一度提示して断られた。対象外をやめてもらいたい。他から助成ももらってないのに。結局、市役所に来所する時間がなくて大変でした。

*他県では現物給付制度が早くから実施されていたように聞いています。長崎市でもそのようなシステムになればいいとずっと思っていたので、今回の長崎市の実施は大変評価しています。先日ニュースにて減額することについての内容を拝見しましたが、なぜ？どうして？と強く不信感を持ちました。申請が手間で手続きしないのを歓迎しているとしか思えません。

*薬局のように受診料も支払いがなくなればいいのですが…。

*長崎市の「現物給付制度」は評価しているが、自分は償還払いなのであまりメリットがない。よく対応してもらえと思うが、やはり他県や市町で格差があるのはおかしいと思うので、全国どこでも平等に助成を受けられるよう、国全体で考えてほしいです。少子化対策にもつながるのではないのでしょうか。

*薬については無料にまでしなくても良いのでは？

*本来、助成金は手続きしてからもらうものだから、現物になって全ての人を対象になるからと言うことで補助金をカットするのはおかしい。子どもが病院にかかる機会は大人に比べて多いので、集団で感染すること等を考えると、できれば小学生の間まで助成があると嬉しいです。

*地方職員共済などでも現物給付できるようにしてほしい。

*制度の変更点についての説明を充分に行ってほしい。

*共済保険の家族にはまだ実施されないのでしょうか？

*少子化を問題としているのに補助金を削減されると、少子化はさらに悪化すると思います。病院代は家庭にとって大きな出費です。現物給付制度を続けて、インフルエンザなどの予防接種も助成制度に入れて欲しいぐらいです。

*補助金を単純にカットするのではなく、補助金を新たに生みだせるような施策を（具体的には今思いつきませんが）検討してほしい。小児科の経営維持を保ってゆくためにも、皆が利用しやすい制度改正を行ってほしい。

*県の財政が厳しい中、削減できる所はした方がいいと思います。ただ、乳幼児（高齢者）からカットしていくのは考えてほしいと思います。

*仕事をしていて平日に休みが取れなかつたりするので現物給付制度はすごく助かっています。少子化が進む中、県の方針は後退しており、時代にそぐわないと思います。

*「現物給付制度」になり、とても助かっています。以前は、仕事をしているので市役所へ行く時間を作るのに大変でした。

*今は小学校就学前の子どもが対象になっていますが、それより後の年齢でも医療費を助成してもらえるような制度になって欲しいと思います。

*福岡などは自己負担はゼロだときいています。まだまだ他の県にくらべるとおけているのに、「補助金」の減額はありえない。「少子化、県ばなれを望んでいるのか!?!」と県に対して言いたい。

*少子化の進むこの時代なので、国をあげて医療費や教育費の無料化へとつなげてほしい。

*現物給付制度が利用しやすく理解しやすいので、たくさんの自治体に実施してほしい。

*まだ子どもたちが小さいので、すごくたすかっています。これからもつづけて下さい。お願いします。

*少子化なのに、もっと補助金を出してほしい。子どもが病気しても、お金のことを考えずに受診できるようにしてほしい。

*確かに現物給付制度になったことで、手続きが楽になりましたが、他県の知人から医療費（就学前まで）はすべて無料だと聞かされると、長崎市の制度に不満を感じます。子育てしやすい環境を求めているのに、補助金の減額なんてもってのほかです。

*子どもが小さいと病院に行くことが多く、病院代もかかるので、この制度で金銭面での心配が減り受診しやすくなった。助成金を戻してもらって手続きがなくなって忙しい日々の中とても助かっている。共働きで、子育てが大変なので様々な方向からの支援があると助かります。

*子どもさんが多いとこほど助かると思いますので、ぜひ続けてほしいです。

*現物給付制度になって、すごく助かっています。補助金をカットするのはおかしい気がします。

*もっと利用者の声を聞いて、県で取り組むべきだと思う。特に1才までの赤ちゃんは病気することも多く、病院によくかかります。毎日の育児で、自分の時間も取れない位クタクタになり、申請をするのがとても大変な作業で

した（育児をしていない人がその位のことと思うことが出来ないんです）。長崎市の制度には大変助かっています。

*持ちあわせのお金を心配せずに受診できるので助かっています。

*とても良い制度だと思うので、長崎市と言わず国全体で実施してほしいです。

*なぜ現物給付制度を実施している自治体が、1億円補助金がカットされるのでしょうか？せっかくいい制度なのに1億円もカットされると意味がなくなるように思います。

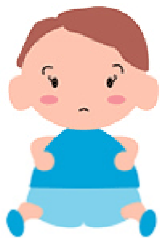
*本来支払われるべきお金なので、減額する考えはおかしい。病院に行きやすい（特に子どものことなので…）。手続き（申請、返金）などの人件費等のムダをはぶけていと思います。

*最近の子育てにとてもお金のかかる時代だと思う。また核家族で、母親一人で子育てしている家庭が多い。今までは手続きが大変で、この制度によって手続きが少なくなり給付もれがなくなったことは、各家庭助かっていると思う。

*他県ではすべて無料なのに長崎県は薬代だけ無料なので、子育てに対する支援が少ない県という印象がある。少子化が進むのも仕方がないと思う。

*母子家庭で収入が少ないため、助成があつてとてもたすかっています。

*小さい子どもをかかえての受診は大変。ましてぐずる子どもをだっこして病院での一定以外の支払い、薬局での支払いがあると大変なので、是非このシステムは続けてほしい（支払額がわかっていると家で出しやすい所に準備していける）。



*これからもこの制度（現物給付制度）を続けてほしい。

*小さい子がいての助成手続きはとても大変だったので、現在の現物給付制度に変わり、とても助かっています。

*小学校まではやはり病院にかかるのは多いので、もう少し拡大してほしい。子育て支援のいっかんならば、もっと声を聞いてほしい。

*子どもが3人もいるので、病気になった時医療費がかなりかかるので、せめて小学校卒業までにしてほしい。

*助成分を戻してもらう手続きがめんどろで、助成制度を利用していませんでしたが、現物給付制度のおかげで漏れなく助成制度をうけることができる。少子化対策として、このような細かなところから見直し、改善すべきところをこれからも改善し、子どもを産み育てやすくしなければならない。

*夜間救急で利用が多い大学病院など県内全ての病院で現物給付制度を実施してもらいたい。もっと子育てしやすい医療制度にしてもらいたい。

*助成分を戻してもらう手続きがなくなり助かっています。なのに、補助金（問9）を減額するという事は、おかしいです。今後もこの制度をつづけて欲しいと思います。

*対象年齢をもっと引き上げてほしい。なぜ県が補助金を減額するのか理由をきちんと説明してほしい。

*補助金が減額される意図がわからない。国全体で考えるべきだと思う。居住地によって差がでるのはおかしい。子育てしやすい社会を作してほしい。本当に困っている人に対するサポートはないと思います。苦勞して子育てをしています。いろんな意味で。

*老人にお金をかけて日本国をこれからせおっていく子ども達にお金をかけないのはおかしいと思います。これでは少子化になるのは当然のことと思います。日本の将来をになう子ども達に援助を行わないで、日本（長崎県）の未来はないのでは…。

*便利になって助かっています。

*小さい病気の子どもをかかえて、人ごみの多い役所に手続きをしに行くのは大変なので、是非この制度は残して下さい。

*愛知県から移ってきたのですが就学前の子どもはカード提出で全くお金がかかりませんでした。県・市等財政によって違うのですが、考えていただけたらありがたいです。

*良いこと、助かることは、国として実施を希望します（少子化対策として）。

*現物給付になって窓口で支払う額が決められているので助かります。以前は病院にかかっても申請することが1度しかなかったので、手続きをまとめてしなくていいので助かります。

*子どもに関する制度を充実させることが、少子化対策の1つにもなると思うので、財政が厳しいことは理解しているが、何とかして欲しい。

*手続きをしなくてすむので、長与町も同じ制度にして欲しいです。

*現物給付制度は良い。期間を長くして欲しい。小学校卒業迄を希望します。

*皮膚科などは特に何度も受診しなくてはいけないので、この制度は助かります。

*他の地域での医療費助成制度が何才までを対象にしているのかわかりませんが、できる限り対象年齢の引き上げをお願いしたいです。少子化対策として必要では？と思います。働きながら子育てをしていると、助成分を払戻してもらって手続きは、手間で大変な気持ちでしたが、今回現物給付になったことで、とても楽になりました。しかし、助成があるからとすぐに医療機関にかかり、医療者の負担を増す親が多いのも問題では、と思います。

*補助金1億円削減で保護者に実際どれだけ負担がかかってくるのかの変額の判断による。現在の月上限1,600円は安すぎるとも思える。現物給付制度は高く評価している。ただ、現在の月上限1,600円は安すぎだと思います。月上限2,000～2,500円が妥当だと考えます。浮いた分の補助金は子どもの医療費として、子どもの病気の予防（インフルエンザ接種など）、子供医療の充実に当てるべきです。

*小児科などの病院以外で「現物給付制度」を実施していない医院があるので、できれば同じ市内なので統一してほしいです。

*ピンクのカードがハガキ位でちょっと大きいので、カードサイズにして丈夫なものにしてほしい。

*現物給付制度を実施される前、第一子は喘息などで受診頻度が多く、手続きがとても面倒に感じて、最近までため込んでいた分をようやく処理したので、非常に助かる制度と思います。他県で早く取り入れられているのを知り、長崎市にも意見したことがあります。

*新幹線なんて無駄なものにお金をかけないで、子育て関連に力を入れて欲しいと常々思います。政治的に地味な分野なのでしょうが…。現物給付制度になった時、本当に長崎市に住んでいてよかったと思いました。県の協力が必須でしょうが、他の市町村にもぜひ広げて欲しいです。何でも遅れている長崎県になって欲しくないです。